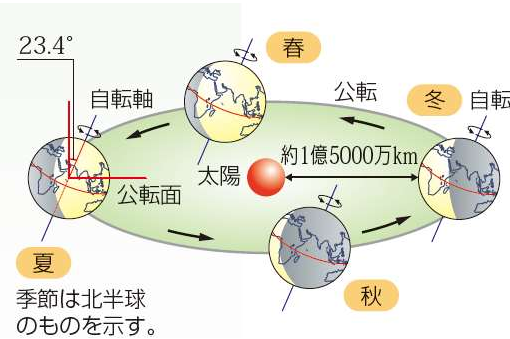


7	3 地球型惑星①	年 組 番号 () 氏名 ()
	4 地球型惑星②	

3 地球型惑星①

①地球

- 平均気温：約 15 °C。液体の水が存在する。生命が存在する。磁場をもっている。
- 半径：(1) km
- 公転の軌道：太陽から約 (2) km
- 自転する周期が約 1 日と比較的短い。
⇒ 自転によって生じる昼と夜の温度差が (3)。
- 自転軸が公転面に垂直な方向に対して傾いている。
⇒ 公転に伴って、季節の変化がおこる。



②月

- 地球からの平均距離が約 38 万 km の軌道上を回る (4)。
- 半径：地球の (5)。質量：地球の (6)。重力：地球の (7)。
- 自転速度：遅い ⇒ 昼と夜がそれぞれ約 15 日間も続く。
- 平均表面温度 昼側：約 (8) °C 夜側：約 (9) °C
- 自転周期：地球に対する月の公転周期に等しい。⇒ 地球に常に同じ面を向けている。
- 表面：明るく見える (10) と暗く見える (11) がある。
⇒ 高地：(12) が見られる。古い時代に形成。
⇒ 海：溶岩が低地を埋めた。新しい時代に形成。

■月の形成

⇒ (13) 説



4 地球型惑星②

①水星

- 太陽系の惑星の中で、半径と質量が最も (14)。
- 太陽に最も近い軌道を公転。
- 自転周期：長い(約 59 日)。
- 昼夜の表面温度の差が大きい。
⇒ 昼：約 (15) °C 夜：約 (16) °C
- 生命は存在しない。

②金星

- 半径、質量、平均密度などが地球に最も似ている。
- 磁場はない。
- 液体の水は存在しない。
- 太陽から受ける単位面積あたりのエネルギーは、地球の約 1.9 倍。
- 表面温度：約 (17) °C にも達する。
- (18) を主成分とする約 95 気圧の厚い大気に覆われ、熱が逃げにくくなっている。

③火星

- 半径：地球の約 (19)。
- 質量：約 (20)。
- 磁場はない。
- 大気圧は地球の (21) %
- 平均温度：約 (22) °C
- 盾状火山やカルデラなど、火山活動の痕跡が多く見られる。両極にドライアイスと氷からなる (23) をもつ。
- 液体の水は存在しない。
⇒ 河川状の地形が見られることからかつては存在したと考えられている。
- 現在のところ、生命は存在しない。